

第112回 小樽商科大学－北海道大学 対面式大打ち上げ会・2次会・3次会 報告書

2026（令和8）年7月19日

小樽商科大学応援団後援会

文責 小西 一郎

§ 1. 1次会

- (1) 日 時 2026（令和8）年7月4日(土) 16時00分～18時00分
- (2) 会 場 三川屋会館 札幌 札幌市中央区南3条西5丁目17番地
- (3) 出席者 小樽商科大学～70名（内、学生27名） 北海道大学～20名（内、学生10名）合計90名
- (4) 式次第
 - 1 16:00 開会の挨拶 北海道延齢会 会長 千川 浩治 様
 - 2 16:05 開会の挨拶 小樽商科大学応援団後援会 会長 八尾 稔啓 様
 - 3 16:10 乾杯のご挨拶とご発声 小樽商科大学 学長 江頭 進 様
 - 4 16:15 ご歓談
 - 5 16:50 スピーチ
 - ①大島 渉 さん（北大） R6入学・定期戦団長 対面式について
 - ②久保 海音さん（商大） R5入学・112代団長・滋賀県立八幡商業高校 対面式について
 - ③吉成 久和先輩（北大） S49入学・66代・恵迪寮・茨城県立太田第一高校
 - ④島崎 憲明先輩（商大） S40入学・52代団長・智明寮・湧別高校
 - 千川 浩治先輩（北大） S40入学・57代団長・恵迪寮 大阪府立生野高校
 - ⑤木山 邦樹先輩（北大） S52入学・69代・大阪府三国丘高校
 - ⑥清水 健介君（商大） H20入学・96代団旗長
 - ⑦瀬戸 邦弘 先生 早稲田大学出身 応援団・人間科学研究者（鳥取大学准教授）
 - ⑧宮内 孟徳さん（北大） 111代 室蘭栄高校 水産放浪歌 前口上
 - 6 17:45 両校最後の挨拶 北海道延齢会 代表幹事 大谷文昭 様
小樽商科大学応援団後援会 副会長 浅野 百樹 様
 - 7 17:50 会場で大団陣 寮歌斉唱 商大 若人逍遥の歌 1、4番
北大：都ぞ弥生 1、5番

(4) 内容

2026（令和8）年7月4日(土)13時02分より札幌市大通公園西11丁目で第112回 小樽商科大学－北海道大学 総合定期戦・対面式が開催されました。

16時から三川屋会館 札幌で、小樽商科大学応援団後援会と北海道延齢会との共催による大打ち上げ会を開催しました。司会は、対面式の幹事校が北大であることから、北海道延齢会事務局長の村田勝君（S57入学・74代）。全国各地から集まった18歳から80歳代までの、商大OBと関係者44名、商大生26名の計70名、北大OB10名、北大生10名の計20名、合計90名の方がご出席されました。



【司会・進行は北大 村田君】

1 16:00 開会の挨拶 北海道延齢会 会長 千川 浩治 様

北海道延齢会の千川浩治会長から開会のご挨拶を頂戴致しました。



【北大 千川浩治先輩 開会のご挨拶】



【商大 八尾稔啓先輩 開会のご挨拶】

2 16:05 開会の挨拶 小樽商科大学応援団後援会 会長 八尾 稔啓 様

続いて、小樽商科大学応援団後援会の八尾稔啓会長から開会の挨拶がありました。

3 16:10 乾杯のご挨拶とご発声 小樽商科大学 学長 江頭 進 様

商大の江頭進学長から乾杯のご挨拶とご発声を頂戴しました。此処に北大の寶金総長がいらっしゃらないのは由々しきこととユーモラスに言及、対面式への参加を働き掛けていくとのお言葉を賜りました。



【商大 江頭進学長 乾杯のご挨拶とご発声】

4 16:15 暫しご歓談





袖振れ合うも多生の縁。大打ち上げ会はいつも自由席。大学、性別、年齢を越えた交流で大盛況！



5 16:50 スピーチ

最初は北大の第110回定期戦団長の大島渉君（R6入学・恵迪寮・神奈川県立厚木高校）。自己紹介エールに会場は一気にヒートアップ。お礼の言葉の後、「人間、顔と中味のどっちが大事か、お釈迦様曰く顔、何故なら中味が顔に出るから」¹。今日の対面式でも、副団長以下、皆の顔に其れが現れて居たとしました。

続いて、商大応援団第112代団長の久保海音君（R5入学・アナログゲーム研究会・滋賀県立八幡商業高校）が登壇。「団長を務め上げられたのは同じ代の三名の支えあつてのこと、漸く対面式を経て団長のスタートラインに立った、来春卒業するので（エー！卒業するな！学長もお許しになってるぞ！の声多数）113代にしっかり引き継いでいきたい、対面式は大成功だった、此れも皆様の御蔭、有難うございました」と述べました。

司会の村田勝君から、商大の久保君、北大の早坂君、女性団長同士が対面したのは初めてのことであり、歴史的快挙であるとのアナウンスがありました。



【北大 大島渉定期戦団長の自己紹介エール】



【商大 久保海音団長の自己紹介エール】

北大の吉成久和先輩（S49入学・66代・恵迪寮・茨城県立太田第一高校・恵迪寮同窓会理事）が力強くエールを切られました。「古い話だが2年目の時に小樽の東映前で対面式をやった、当時は団長倒しというものがあった、との話に続き、「11月に『寮歌の情景』という写真集を発行する 写真は殆ど自分が撮影したもので表紙と本文含めて100ページ、間もなく公開・予約販売するので宜しく」とのことでした。

商大の島崎憲明先輩（S40入学・52代団長）がご登壇、やはり、ご同期の北大の千川浩治先輩（S40入学・57代団長）を差招かれました。「61年前に札幌で対面式を一緒にやった、当時19歳、61年の付き合いになる、今日の北大の大島君と商大の久保さんは立派な団長だった、両校は其々の代・団で交流して此処迄続いてきたと思う 80歳になり、あと何回対面式に出られるかと思うが、来年の小樽での対面式には北大の大谷君から購入した恵迪寮を染め抜いた浴衣を着て参加したい」と述べられました。続いて千川先輩から、「今日一番感動したのは、100年先の後輩たちに此の集まりを伝えたいという大島君の最後の言葉である」とされ、「俺も島崎も百年先は居ないけれど、あの世から戻って来て、皆には見えないかも知れないけれど、百年先の後輩達の姿を眺めたいと思う、お互い頑張ろう」とのお言葉を頂きました。

北大の大谷文昭先輩（S43入学・60代参謀）が発言、「都ぞ弥生の全歌詞を染め抜いた浴衣を作った、当然乍ら商大の同期浅野に「頼むよ」と言ったら「分かったよ」と言ってくれた、島崎先輩にもお願いしたら「いいよ」ということで買って頂いた、事程左様に商大にお世話になって居る」とのことでした。



【北大 吉成久和先輩の自己紹介エール】



【商大 島崎憲明先輩のスピーチ】



【同期でのご登壇 商大の島崎先輩と北大の千川先輩】【北大大谷先輩と商大浅野先輩が加わって、ご同期2ペアに！】

北大の木山邦樹先輩（S52 入学・69 代・大阪府立三国丘高校・北海道延齢会幹事）がスピーチをされました。「隣には同期で一緒に対面式をやった商大の八尾君、小樽の地獄坂を冬場に滑り乍ら降りたり「まるた」で飲んだりした印象深い思い出がある、こういう人との出会いや巡り合わせ、そして繋がりや役割分担というものが齢をとってくると非常に大事であることが分かってくる、大事にして欲しい」と述べられました。八尾稔啓先輩（S52 入学・64 代法螺貝・智明寮・雲龍・剣道部・久野ゼミ・兵庫県立夢野台高校・久野ゼミ）から、「卒業して何十年経っても、仕事上でも友人としてもこうやって長く付き合えるのも、北大と商大あつてのこと、元気な先輩達がいっぱいいらっしゃり、こうした伝統ある所に居て皆さんは幸せ、色々な所に行ったら先輩達に連絡をして欲しい、皆さん快く会って下さる」とのことでした。此れを受けて、木山先輩が「情けは人の為ならず」の諺に言及、「是非先輩達と交流して欲しい」と仰いました。

清水健介君（H20 入学・96 代団旗長）が受付時の指名で急遽登壇しました。「15 年振りにのエールを切った、我々96 代は団が復活した時の代だった、今日の対面式を見て、北大と商大双方が認め合っている姿に感動した、「百年続ける」はいいフレーズ、これから途絶えることなく脈々と続いていくことが大事、此の会を続けていって欲しい」と述べました。司会の村田君から、当時の商大応援団を復活させる会の中川廣太郎会長を偲ぶコメントがありました。



【北大の木山邦樹先輩のスピーチ 同期の商大 八尾稔啓先輩】

【商大 清水健介君のスピーチ】

村田君からの「何と日本には応援団研究者がいらっしゃる」のアナウンスに導かれ、鳥取大学の瀬戸邦弘先生がご登壇。「改めて感じたことは、対面式で役目勤め上げる中、誰も自分の為にやって居ない、ただ誰かが幸せになってくれればとの思いで自分の声や時間を精一杯使って居るということだった」「応援団経験者ではないので軽々には申し上げられないが、寧ろ其れ故に客観的に見られるのかも知れない中、皆さんが当たり前に行っていること、良く分からないと言い乍らやっておられることの素晴らしさを強く感じるので研究して居ると思う、1 年生の方達は分からないかも知れないが、先輩達は百回以上此れを続けてこられた、其の重みや価値というものは、これからどんどん強く感じる事が出来ると思う、また先輩達はお判りだと思うが、其れは卒業してからどんどん色付いていく、そして自分達を守り支え自分達の中心になっていくのは、実は其の 4 年間で過ごした時間があつたからこそであり、其れが応援団文化だと思う、千川先輩は百年後も居られると思う、此の時間が永遠に続くことを願う」との言葉を頂きました。



【鳥取大学 瀬戸邦弘先生のスピーチ】

【北大 宮内孟徳君 水産放浪歌 前口上】

スピーチタイム最後は、恒例により、両校有志が円陣になって肩を組み、北大の宮内孟徳君（(111代・室蘭栄高校）の前口上に続いて水産放浪歌を唄いました。

6 17:45 両校最後の挨拶 北海道延齢会 代表幹事 大谷文昭 様

小樽商科大学応援団後援会 副会長 浅野 百樹 様

北海道延齢会の大谷文昭代表幹事、商大応援団後援会の浅野百樹副会長が閉会の挨拶をされました。



【北大 大谷文昭先輩 ご挨拶】



【商大 浅野百樹先輩 ご挨拶】

7 17:50 会場で大円陣 寮歌斉唱

最後に、一同大円陣と成って肩を組み、商大の大西勇樹君（R5 入学・110 代参謀・グリー&カンタール・旭川龍谷高校）の先導で「若人逍遙の歌」（1・4 番）を、北大の佐野将義君（H2 入学・82 代・恵迪寮・北海道延齢会事務局次長）の先導で北大「都ぞ弥生」（1・5 番）、を斉唱しました。

§ 2. 2 次会

(1) 日 時 2026（令和 8）年 7 月 4 日(土) 18 時 30 分

(2) 会 場 怪物ランド 札幌市中央区南 6 条西 4 丁目 5 番地 9 タカセビル 5 階

(3) 出席者 小樽商科大学～10 名（内、学生 1 名） 北海道大学～2 名 合計 12 名

2 次会は、18 時 30 分から、すすきのにある商大 OB がマスターの怪物ランドで開催。商大と北大の OB・学生の合計 12 名が参加、時間の許す限り歓を尽くしました。

§ 3. 3次会

北大の村橋究理基君（H22 入学・恵迪寮寮長・愛知県立津島高校）、商大の寺井貫生君（H3 入学・結城ゼミ・札幌啓成高校）と小西で3次会に突入。何と其処には、商大OBであるK君の姿が！早朝から日付変更線を越えるまで、商大と北大にどっぷり漬かった一日でした。



¹ 法蔵菩薩が世自在王仏に弟子入りした際、師の徳を褒め讃えるに其の尊顔を以てした。スピーチは、「^{こう}光顔巍巍」で始まる仏説無量寿経の上巻にある讃仏偈（仏を讃えた韻文）に書かれて居る其の内容について述べたものと思われる。法蔵菩薩は五劫もの間思案した後、成仏して（悟りを開いて）阿弥陀如来となったとされる。（渡邊正乗『浄土真宗本願寺派のお経』、学習研究社、2007 浄土真宗本願寺派 日常勤行聖典編纂委員会『日常勤行聖典』、本願寺出版社、1998）